公務員の非正規労働が法制化されてしまう!!「会計年度任用職員制度」

今や全国的には、5人に1人が非正規職員の割合となっています。

これまで、非正規職員には期末手当はなく待遇面でも厳しい処遇でした。今回の制度の導入によって、期末手当(2.6ヶ月)や各種手当などの一部が出ること、わずかですが昇給(上限あり)があります。

しかし、この制度によっても均衡は図れません。しかも「会計年度」の名称が示すように一年という期間で、再度任用されることはありますが、約束されているわけではありません。

市民ネットが問題視するのは有期雇用であり、継続して働き経験を活かすことが出来ず、将来に対する不安を抱えながら、市民サービスに従事する職員が公務に当たるということです。まさに、公務員のワーキングプアの増産であり、正規職員への負担の過重化が進みます。

また、災害時等の非常事態となった時の職員不足をどのように考えたらよいのでしょうか?

確かに、組合の合意を得ているとはいえ、働く人の存在感が見えて来ないのです。

市議
小室　みえこ

市民ネットワークは反対

実は、「会計年度任用職員制度」は、公務員としての在り方が大きく変わる重要な議案です。その議案が追加議案で提出されたことも問題です。

有期であるため次年度の任用をちらつかせ、パワハラ、セクハラも一般的にはみられるといいます。評価の基準の透明性も含め質問し「パワハラやセクハラが発生しないよう、また次年度の任用についての説明も面接等できちんと行ってきましたしこれからもしっかり行っていくようにしていきます」という答弁を引き出しました。

マニュアルは作ったけれど「街路樹維持管理マニュアル」

「街路樹維持管理マニュアル(管理編)が策定されてから、2年半以上が経ちますが、この管理マニュアルはほとんど陽の目を見ていないのが現状です。今回の質問でその理由がわかりました。

「維持管理マニュアル」はあくまでも、街路樹の在り方の理想論で、今後は手法編を策定する中で、具体的な路線ごとの街路樹の管理を行っていくということでした。街路樹路線約37キロあるうちの残り約16キロを今年度中に調査を終えてから、手法編の策定に取りかかるという答弁でした。

今後はどの位の予算をかけ市民の声が反映されて街路樹の育成や更新が進むのでしょうか。

手法編の策定に注目していかなければなりません。

国民健康保険について

野田市の国民健康保険料は、平成30年度を初年度とすると3年続けて「保険料の引き下げ」が行われる予定だということです。

国保財政調整基金を活用といいますが、想定したより徴収率が上がり、集めた保険料を積み立てた結果によるものです。それを引き下げに使うのは当然です。「保険者努力支援制度」について指摘しました。当時県内43位だった得点が対策を講じ3位まで伸ばしこの保険者努力支援者制度で交付される補助金の額を大きく増やしました。命と健康の礎となる保険制度は、より生活者の負担軽減を求めて提案していきます。

プラスチックごみの削減を進めよう

海洋プラスチックごみは世界的な問題です。野田市でもマイバックを利用し、ペットボトルよりもマイボトル運動をすすめましょう。

山崎小学校の校庭が陥没した?!

【陥没時の現場】

これまで100万円以上をかけて整備を行った個所は4か所、4万～25万円の費用をかけた工事は8か所でした。

また、平成7年に地下レーザー探査を行って調査していました。(この質問によって調査の記録を探してもらいました)

「恐らく…だと思う」という対応が、保護者の不安を増幅させてしまいます。過去に実施した地下調査を踏まえ、正確な情報を把握しておくべきです。

今後の対応は学校と協力し市の職員が校庭や舗装部分の点検を行うということです。

平成30年度一般会計反対の理由、来年度予算に要望する項目

◆行財政改革の在り方に反対です。指定管理者制度の導入や、非正規雇用の拡大は公務として市民サービスに影響が出ています。

◆国の保育行政が間違っており、保育の質が低下しています。。

また、保育士不足による待機児童の問題は、今の保育に疑問があり、保育士職に魅力を感じなくなっていることも考えられます。

◆根本的に番号制度に反対です。再発行の件数が43枚と増えており、リスクが高いことの説明を十分行うよう求めます。

2021年3月からマイナンバーカードに保険証の機能を持たせるようにすると言いますが、紛失の恐れや大事なものを持ち歩きたくないという声もあり、リスクも丁寧に伝えるべきです。

◆柏廃材処理センターの立ち入り調査は減少しましたが、被害がなくなったわけではなく、引き続き、被害者の会、弁護団との情報の共有をしていくこと。

◆台風15号の被害で停電が続き、深刻な事態を招きました。蓄電の在り方、補助について、また新清掃工場の建設においては、災害が起こった場合の災害ゴミ問題が生じるため、自区内処理を基本とし、引き続き建設候補地への対応をお願いします。

◆安全な環境の中で農作物のブランド化の推進と共に除草剤（ランドアップ）の使用に対する検証を行うべきです。

◆鉄道の高架事業が進んでいますが、近隣の住宅への影響や苦情について、真摯に対応してください。

◆土曜授業で確保した時間で成績向上がかなえば、苦労はいらず、弊害の方が大きいと考えます。二学期制についても反対です。

◆職員研修に、虐待やDV、子どもの人権について十分に行うよう次年度の計画に入れてください。

◆公民館や児童館その他の社会教育施設、社会福祉施設等は、長寿命化計画を行っていきますが、新たな子ども館ばかりに注目が集まり、他の公共施設の更新に光が当たりません。空調の不具合や、利用されない調理室などはこのままになってしまうのでしょうか。また、一つしかない洋式トイレに行列が出来ています。

平成30年度の財政調整基金は、年度末で約57億円にもなりました。公共施設基金に回して改修等を急ぐべきです。

◆欅のホール、興風図書館などの駐車場スペースの拡充が必要であり、改善すべきです。